

第 9 表 都道府県別、面積、民有地等

7) 緩衝緑地、都市緑地、緑道の合計である。
 a) 青森県上北郡十和田市と秋田県鹿角郡小坂町の境界未定のため、累計に含まない。(550.18km²)
 b) 十和田湖水面境界未定のため、青森県、秋田県に含まない。(59.77km²)
 c) 新潟県糸魚川市、長野県北安曇郡小谷村、白馬村の境界未定のため、累計に含まない。(918.56km²)
 d) 山梨県富士吉田市、南部留部町、静岡県富士宮市、岐阜県高山町の境界未定のため、累計に含まない。(657.90km²)
 e) 中海水面境界未定のため鳥取県、島根県に含まない。(97.71km²)
 f) 熊本県球磨郡水上村と宮崎県東臼杵郡椎葉村の境界未定のため、累計に含まない。(729.79km²)

都道府県	面積 (各年10月1日)	民 有 地 (各年1月1日)				自然公園 面積 (各年3月末)	都市公園 面積 (各年3月末)	7) うち 緑地面積 (各年3月末)	
		うち 宅 地	うち 田	うち 畑	うち 山 林				
昭和 58 年	377 765.27	161 507	12 384	30 017	25 879	76 135	5 319 689	47 222	3 163
59	377 780.55	161 176	12 565	29 933	25 885	75 891	5 321 588	50 081	3 738
60	377 801.14	161 901	12 764	29 903	25 933	76 620	5 325 189	52 474	4 159
61	377 815.02	161 755	12 953	29 796	25 955	76 547	5 323 187	54 681	4 375
昭和 62 年	377 835.24	161 637	13 117	29 692	25 915	76 596	5 297 463	57 063	4 776
北海道	83 519.69	28 373	820	2 604	7 985	11 303	836 871	6 439	285
青森県	a) b) 9 247.04	3 960	226	919	749	1 479	114 723	785	83
岩手県	15 277.35	7 444	232	990	801	4 377	71 977	546	28
宮城県	7 291.69	3 367	301	1 164	361	1 422	187 605	1 440	75
秋田県	a) b) 11 434.81	3 937	195	1 344	278	1 376	123 166	852	3
山形県	9 326.63	3 515	195	1 058	385	1 528	156 505	701	138
福島県	13 783.79	6 064	318	1 178	906	3 131	170 325	968	12
茨城県	6 094.43	4 196	508	987	1 153	1 285	88 189	999	147
栃木県	6 413.79	3 308	318	1 014	455	1 281	132 159	1 010	39
群馬県	6 355.61	2 540	308	331	717	939	90 350	1 526	19
埼玉県	3 799.32	2 337	532	501	639	524	120 393	2 148	569
千葉県	5 150.60	3 576	555	944	722	1 049	28 339	2 039	364
東京都	2 166.26	1 073	523	13	139	327	73 598	3 433	353
神奈川県	2 402.90	1 321	509	80	251	343	54 553	2 093	182
新潟県	c) 12 111.63	4 940	360	1 727	420	2 168	316 804	861	15
富山県	4 252.35	1 424	184	687	71	411	119 754	875	99
石川県	4 197.65	1 653	149	467	156	800	49 477	704	42
福井県	4 191.60	1 620	122	444	62	936	61 399	742	142
山梨県	d) 4 254.01	1 320	124	144	311	641	128 311	432	30
長野県	c) 13 133.20	4 773	330	769	821	2 201	278 684	1 009	102
岐阜県	10 595.75	4 658	270	553	234	3 346	187 850	816	3
静岡県	d) 7 324.84	4 274	447	382	658	2 430	83 577	1 276	45
愛知県	5 138.69	2 743	659	652	484	765	89 527	2 836	249
三重県	5 777.69	2 880	255	588	258	1 658	206 902	699	84
滋賀県	4 016.00	1 679	167	590	71	768	146 288	414	10
京都府	4 612.94	1 584	179	312	107	914	7 795	830	70
大阪府	1 869.40	892	449	170	54	168	11 648	3 196	302
兵庫県	8 380.89	4 118	455	830	143	2 482	159 942	3 154	269
奈良県	3 692.15	1 445	117	237	84	954	63 327	1 020	71
和歌山県	4 724.70	2 471	115	221	202	1 895	42 771	333	81
鳥取県	e) 3 494.10	1 380	83	291	163	682	45 313	303	30
島根県	e) 6 628.52	3 250	106	454	183	2 396	40 519	544	1
岡山県	7 091.54	3 664	271	740	294	2 204	71 232	1 005	121
広島県	8 466.87	4 027	280	602	292	2 700	34 396	1 378	60
山口県	6 106.79	3 253	222	583	190	2 111	40 555	921	125
徳島県	4 145.66	1 822	99	254	197	1 243	38 523	249	2
香川県	1 882.60	1 179	137	327	147	533	16 088	438	84
愛媛県	5 672.29	3 112	181	344	478	2 048	41 195	909	16
高知県	7 107.17	3 314	79	287	171	2 715	47 792	250	8
福岡県	4 962.61	2 839	504	837	319	910	88 089	2 275	172
佐賀県	2 440.04	1 450	110	487	233	506	27 441	365	45
長門県	4 112.57	1 918	155	302	484	798	74 779	830	2
熊本県	f) 7 215.55	2 969	243	774	647	1 000	155 837	599	33
大分県	6 338.02	2 327	162	503	333	969	174 851	481	119
宮崎県	f) 7 198.05	2 404	179	431	457	1 096	92 050	1 017	17
鹿児島県	9 166.58	4 140	278	551	1 160	1 695	74 212	896	19
沖縄県	2 254.97	1 130	107	23	490	90	31 782	381	12

資料 建設省国土院「全国都道府市区町村別面積調」、自治省税務局固定資産税課「固定資産の価格等の概要調書(土地)」
 環境庁自然保護局計画課「自然公園の面積」、建設省都市局公園緑地課「都市緑化年報」

第 2 章
 気 象

第 2 章 気 象

概 況 (昭和63年)

1 月 暖冬

冬型の気圧配置は長続きせず、全般的に暖かく天気は周期的に変化した。月平均気温は過去2番目の高い気温であった。月の後半は一時的に強い冬型の気圧配置となり寒くなったが、その後は、移動性高気圧におおわれ寒さもゆるみ晴れの日が多かった。

2 月 平年並の寒さに戻る

冬型の気圧配置が続き寒い日が多かったが、中旬から下旬にかけておおむね冬型の気圧配置となり、下旬は短い周期で天気は変化した。月の雪日数は11日(平年6.5日)と多かった。

3 月 春一番吹かず

前半は気圧の谷や低気圧が次々と通って天気は短い周期で変わったが、後半は南海上に停滞した前線及びそのうえを次々と低気圧が通ったため、ぐずついた天気が多かった。

4 月 桜の開花遅れる

おおむね天気は周期的に変化した。移動性高気圧におおわれる日が多く晴れの日が多かった。桜の開花は平年よりやや遅く開花したが、中旬には満開となる場所が多かった。桜の開花は5日(平年4月1日)で、満開は11日(平年4月8日)であった。

5 月 真夏日を記録

おおむね天気は周期的に変化した。上、中旬は高気圧におおわれることが多く真夏日(19日、30.4℃)を観測するなど晴れの日が多かった。下旬は高気圧が北にかたよりぐずついた天気となった。

6 月 梅雨入りは平年並

月初め低気圧を伴う気圧の谷が通り、沖縄付近の台風2号の影響もあって、強い雨となった。また中旬は梅雨前線の活動も弱く晴れの日が続いたが、下旬には活動が活発となって強い雨がふるなどぐずついた天気となった。

7 月 遅い梅雨明け

上半後半、近畿地方は太平洋高気圧や移動性高気圧にお

おおわれ晴れの天気になった他は、梅雨前線が西日本に停滞し曇雨天の日が続き強い雨も降ったが31日には梅雨明け(平年7月8日)となった。梅雨期間は53日で平年より14日長くなったが、この間の降水量は358.5mm(平年377.1mm)と平年並みであった。

8 月 太平洋高気圧の勢力が弱く、天候不順

太平洋高気圧の勢力が弱く日本の南海上に多発した熱帯低気圧(一部は台風となって近畿地方に上陸)の影響で湿った空気が西日本を中心に流れ込み大気の状態が不安定となり雨や雷の日が多かった。

9 月 引続き天候不順

上旬と下旬に一時移動性高気圧におおわれ晴れになったが、全般的には低気圧の通過それに伴う寒気の流入、南海上に熱帯低気圧、前線が停滞したため、雨の日が多かった。下旬には秋雨前線が活発になったため大雨が降った。

10 月 木枯し1号が吹く

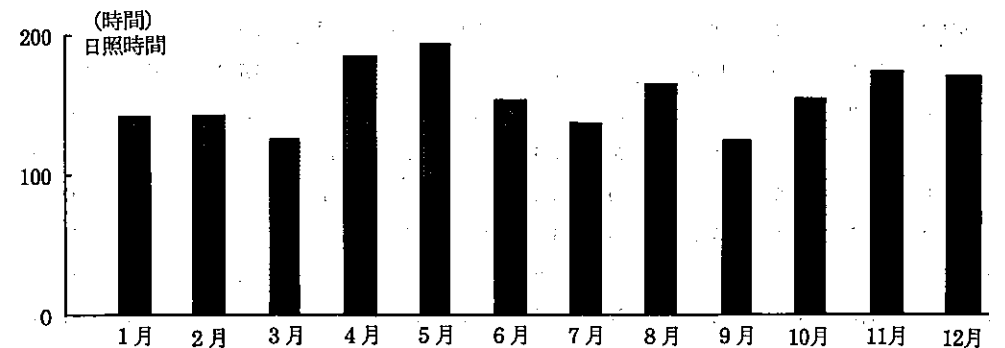
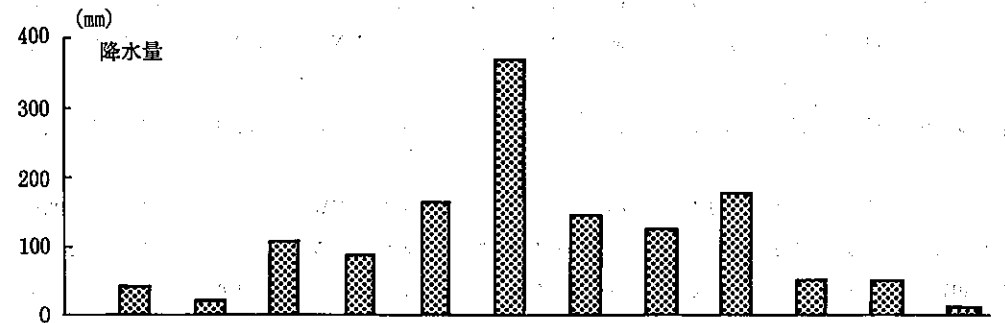
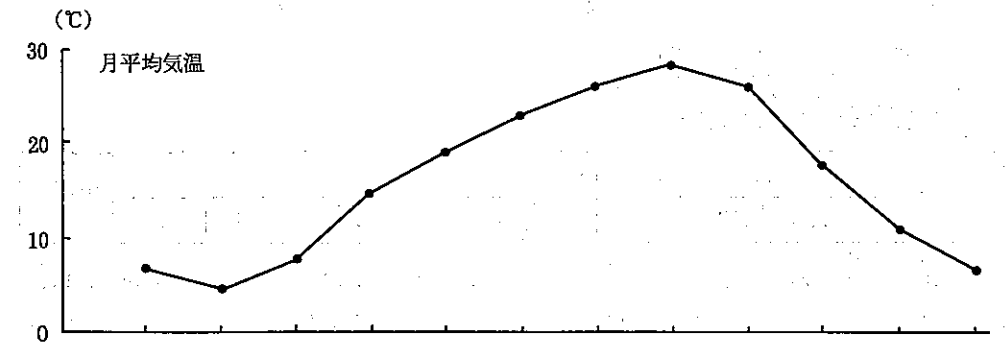
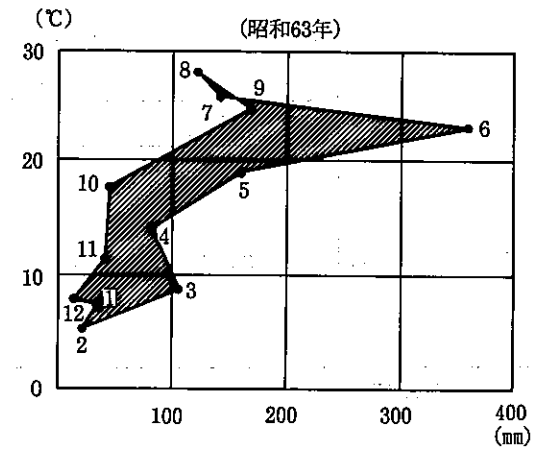
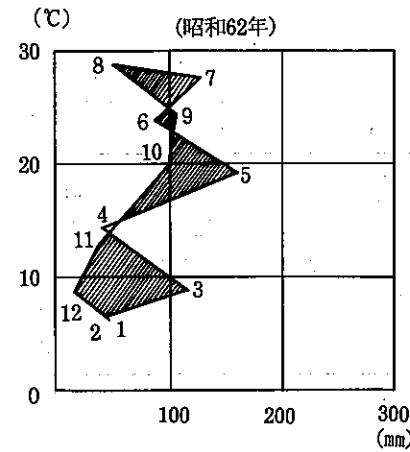
上旬は秋雨前線が南岸に停滞し又台風第24号が四国の南海上を通ったため、まとまった雨が降った。中旬から下旬前半まで天気は周期的に変化した。下旬後半は冬型の気圧配置の日が続き上空に寒気が入り、29日には、木枯し1号(平年11月7日、昨年12月1日)となった。

11 月 初霜、初氷を観測

全般に、冬型の気圧配置となる日が多かった。前半は移動性高気圧におおわれ晴天の日が多かったが、後半には冬型の気圧配置が強まり寒気流入して、20日に初霜(平年11月27日、昨年11月30日)、28日に初氷(平年12月7日、昨年12月2日)を観測した。

12 月 遅い初雪

気温は中旬までは平年に比べ低く経過したが、後半は、高くなった。月を通して冬型の気圧配置や移動性高気圧におおわれ晴れの日が多かった。中旬には一時冬型の気圧配置が強まり寒気が流入して、16日に初雪(平年12月8日、昨年12月2日)を観測した。



第1表 大阪管区気象台

1) 「地上気象観測標準」によるものである。

位置	経緯度		海面上高	創設年月日	主要器材の位置
	東経	北緯			
大阪市中央区大手前4-1-67	135.31	34.41	23.1	明治15. 7. 1	水銀気圧計(海面上) 49.9 m 温度計(地面上) 1.5 風向風速計(地面上) 53.0 自記雨量計(地面上) 0.5 露場(海面上) 23.1

資料 大阪管区気象台調査課

第2表 気象概況

7) 1日8回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 イ) 1日4回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 ウ) 全天候に観測された場合を10とし、曇のない状態を0とした基準。
 エ) 0時~24時の全風程から求められている。
 ア) 過去における最高、最低及び最大値である。

年月	平均気圧 (海面)	気温			イ) 平均湿度	ウ) 平均雲量	風速			降水量		日照時間 総数	有感地震
		7) 平均	最高値	最低値			エ) 平均	最大瞬間	風向	総量	最大時量		
昭和59	1 015.3	15.8	36.9	△2.9	65	6.2	3.5	27.4	WSW	1 059.5	37.0	2 270.8	19
60	1 015.4	16.6	38.1	△2.7	66	6.6	3.5	29.2	WSW	1 276.5	32.5	2 169.4	8
61	1 015.1	15.8	35.9	△2.1	65	6.3	3.4	22.0	SW	1 203.5	36.5	2 055.5	4
62	1 015.7	16.8	35.2	△1.5	65	6.2	3.4	28.3	ENE	949.5	42.0	2 062.1	6
昭和63年	1 014.6	16.1	35.4	△0.6	64	6.6	3.4	23.2	WNW	1 300.0	37.0	1 882.2	1
1月	1 019.9	7.2	15.1	△0.1	60	5.9	3.7	23.2	WNW	34.0	8.5	142.6	-
2	1 021.3	5.0	15.3	△0.6	58	6.1	3.7	22.4	WSW	18.0	2.5	142.3	-
3	1 017.5	8.4	19.1	△0.4	61	7.7	3.9	19.0	W	104.0	14.5	124.9	-
4	1 016.1	14.3	25.1	4.0	58	6.5	3.4	15.1	NNE	82.0	8.0	186.3	-
5	1 011.9	19.0	30.4	9.1	60	6.7	3.4	18.6	SSW	161.0	17.0	194.6	-
6	1 007.4	23.3	31.3	16.5	71	7.5	3.5	17.2	WSW	367.0	17.5	154.7	-
7	1 007.8	26.0	32.7	19.6	72	8.6	3.5	14.0	WSW	141.5	30.5	138.9	-
8	1 007.7	27.9	35.4	22.1	70	7.6	3.4	22.4	NE	121.0	23.5	165.5	-
9	1 011.0	24.8	33.2	18.7	70	8.3	3.2	19.7	SE	175.0	37.0	124.4	-
10	1 016.0	17.8	26.4	7.7	65	6.0	3.0	18.5	W	44.0	4.5	158.6	-
11	1 016.9	11.5	20.1	2.5	61	4.2	3.4	21.4	W	40.5	6.0	174.8	-
12	1 022.1	7.6	16.3	1.6	61	4.5	3.0	19.4	W	12.0	2.5	174.6	1
平年	1 015.1	16.1	-	-	67	6.2	3.3	-	-	1 399.6	-	1 905.2	-

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第3表 天気の概況

区分	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年												
	総数	総数	総数	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量≥0.5mm	117	107	105	116	5	4	12	9	13	14	13	14	15	8	6	3
降水量≥1.0mm	104	96	98	97	5	2	11	8	10	13	8	11	14	7	6	2
降水量≥10.0mm	44	40	35	41	2	1	5	3	6	8	4	4	5	2	1	-
降水量≥30.0mm	9	13	5	11	-	-	-	1	2	4	2	-	2	-	-	-
雪日数	14	24	22	20	3	11	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1
雷日数	14	9	10	12	-	-	-	-	-	1	1	7	1	-	2	-
霧日数	6	7	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
煙霧日数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日最大風速 10m/S以上	31	18	25	33	5	4	2	-	4	1	-	3	1	2	6	5
雲量<1.5	21	2	29	24	1	-	1	3	2	1	-	1	-	2	7	6
雲量≥8.5	128	3	100	129	4	6	15	10	11	17	21	13	18	8	2	4
不照日数	39	32	36	50	4	3	4	6	5	7	5	1	5	7	1	2

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第4表 地域気象観測所の平均気温

観測所	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年												
	平均	平均	平均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能勢	13.2	12.8	13.6	...	3.4	...	5.1	20.8	23.6	25.1	22.0	14.0	7.0	3.1
枚方	14.7	14.3	15.2	14.3	5.4	3.3	6.7	12.9	17.4	21.9	24.7	26.4	23.2	15.7	9.2	5.3
豊中	15.6	14.9	15.9	15.1	5.9	4.2	7.5	13.5	18.0	22.6	25.4	27.3	24.1	16.7	9.9	5.9
生駒山	11.7	11.1	12.0	10.8	2.5	△0.3	3.4	9.7	14.3	18.4	20.9	22.0	18.9	12.0	5.7	2.2
堺	15.3	15.1	15.7	15.0	6.3	4.5	7.9	13.3	17.8	22.3	25.4	26.6	23.7	16.2	10.2	6.3
熊取	15.1	14.6	15.4	14.7	6.1	4.2	7.1	13.1	17.4	21.7	24.8	25.8	23.0	16.3	10.6	6.6

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第5表 地域気象観測所の降水量

観測所	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年												
	総量	総量	総量	総量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能勢	1 487	1 322	1 297	...	44	18	115	351	204	148	135	53	52	12
箕面	1 632	1 374	1 141	1 364	35	12	100	89	179	374	189	119	143	54	54	16
枚方	1 430	1 295	1 099	1 431	27	18	104	85	148	423	214	111	180	54	51	16
豊中	1 405	1 137	980	...	36	18	105	90	...	360	153	205	130	45	48	12
生駒山	1 568	1 317	1 215	1 382	31	19	95	98	176	397	185	160	126	45	34	16
堺	1 281	999	955	1 228	12	9	24	30	33	113	24	98	42	13	12	6
河内長野	1 350	1 097	1 061	1 048	44	19	98	85	85	268	81	156	110	43	45	14
熊取	1 344	1 073	965	1 205	44	13	110	96	135	387	95	114	135	36	33	9

資料 大阪管区気象台「大阪府気象年報」

第6表 全国主要気象官署別気象概況

ア) 3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時、24時の合計8回の観測値を算術平均したものである。イ) 3時、9時、15時、21時の4回の観測値を算術平均したものである。ウ) 日照計の種類が変更されたため、各観測所で算出した参照値である。エ) 平均質量1.5未満の日である。オ) 任意の10分間平均風速の最大値である。カ) 最北端の観測地点(アムダスを除く)。キ) 最南端及び最東端の観測地点。ク) 最西端の観測地点。

(昭和63年)

Table with columns for 気象官署, 気温 (年平均值, ア)年平均, 年間最高値, 年間最低値), 相対湿度 (年平均值, イ)年平均, 年間最小値), 日照時間 (年平均值, ウ)年間総量), 降水量 (年平均值, 年間総量, 1日最大値), 最深積雪, エ)快晴日数, オ)最大風速. Rows list various weather stations across Japan.

第3章 人口